

くまのじんじゃはいくほうのうがく

熊野神社俳句奉納額

指定種別：市指定文化財

指 定 日：平成 22 年 2 月 25 日

所 在 地：釜石市唐丹町字荒川（熊野神社）

制 作 年：天明 2 (1782) 年

寸 法：高さ 43.5 cm 幅 192 cm



熊野神社俳句奉納額は、天明 2 (1782) 年 4 月に奉納された俳句扁額で、和歌 1 首、四季
発句 1 首、各詠 33 首、文音 4 首、法楽 2 首の合計 41 首が載せられています。

各詠では地元唐丹のものが、文音では釜石や吉浜など近隣のものの作が寄せられ、法楽
では芭門十哲の一人、各務支考の弟子で北越の俳人である暁夢坊と泉州の俳人狂雪が句を
寄せています。

唐丹の俳人雨竹は、天照御祖神社奉納額にも句を載せているほか、陸前高田市の竹駒神
社奉納額にも句を載せており、広範な交流が見られます。

